

一酸化炭素の測定結果(平成18年度)

一酸化炭素は、物の不完全燃焼により生ずるものであり、その発生源は、大部分が自動車によるものです。

平成18年度に、一酸化炭素について、岐阜明德自動車排出ガス測定局で測定した結果は、下表に示すとおり、年平均値 0.4ppm で、環境基準を達成しています。

平成18年度一酸化炭素測定結果												
測定局名	有効測定日数 (日)	測定時間 (時間)	年平均値 (ppm)	1時間値の8時間平均値が20ppmを超えた回数とその割合		日平均値が10ppmを超えた日数とその割合		1時間値の最高値 (ppm)	日平均値の2%除外値 (ppm)	長期的評価の適否	平成16年度	
				回数	%	日	%				年平均値 (ppm)	長期的評価の適否
岐阜明德自排	348	8366	0.4	0	0.0	0	0.0	2.2	0.7	○	0.4	○

備考)

1 岐阜市調べ

2 環境基準の長期的評価に適合しているとは、測定時間が年間 6,000 時間以上あり、日平均値が 10ppm を超えた日が2日以上連続せず、かつ、日平均値が 10ppm を超えた日数が、年間を通じて2%以下であることを示す。

○過去 10 年間の経年変化

一酸化炭素の年平均値の経年変化

